

爆発事故防ぐシートシャッター

空気駆動式を開発

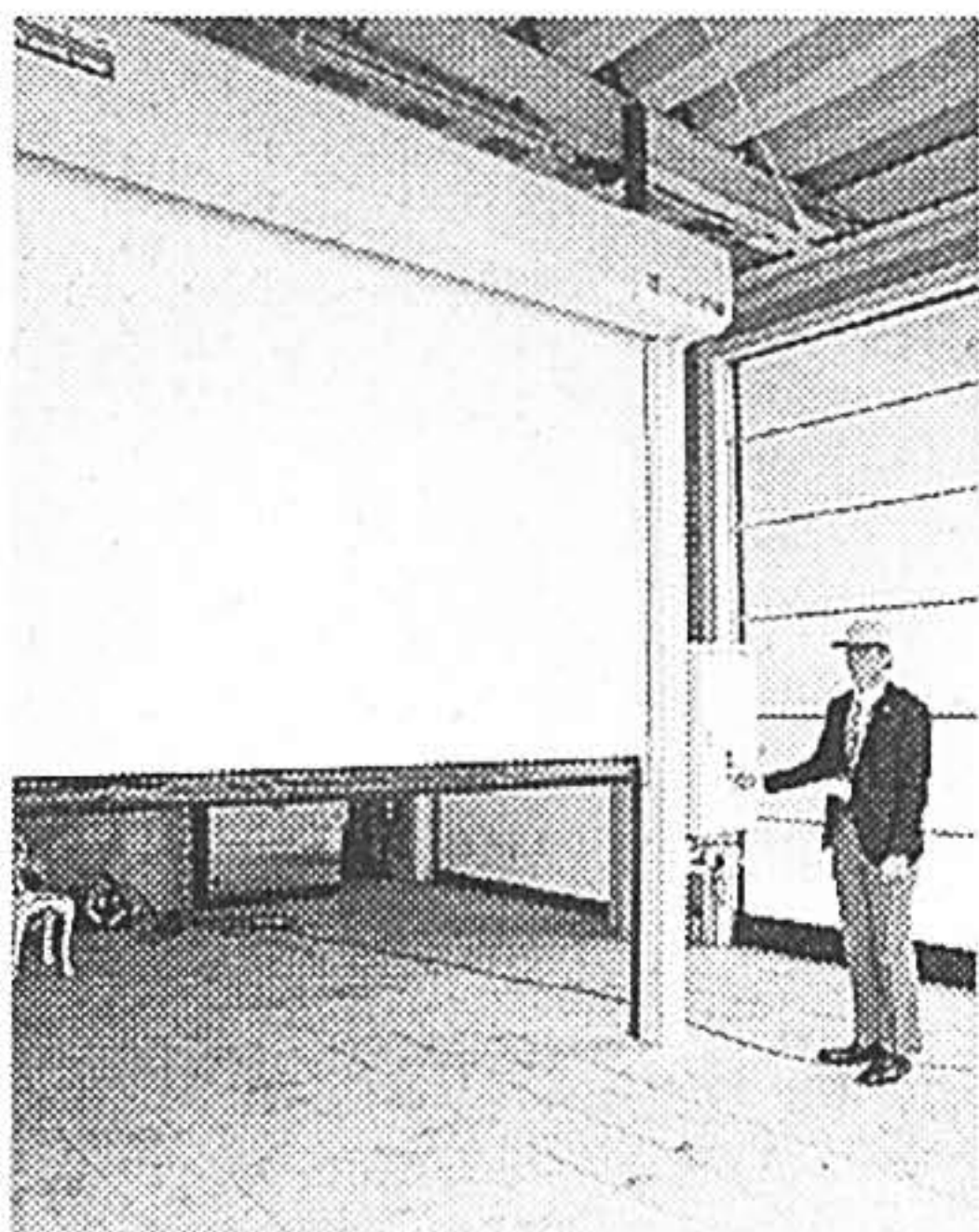
小松電機

シート状の仕切りが上下するシートシャッター製造の小松電機産業（松江市、小松昭夫社長）は、圧縮空気で駆動する新製品を開発し、販売を始めた。電気による火花が発生しないのが特徴で、化学工場で爆発事故を防ぐ防爆シートシャッターとして売り込む。

「防爆門番」Ⅱ写真Ⅱと名付けた。圧縮空気を

送り込む動力となる電源類はすべて設置場所から離れた場所にある。シート部分には帯電防止不燃シートを活用した。

空気駆動式の防爆シ



トシャッターはこれまでに例がないという。標準的なタイプで縦横3メートル。販売価格は約300万円。競合メーカーが扱っている既存の電気駆動式の防爆シートシャ

ッターと比べて20%程度安いという。

同社の2013年3月期の売上高は34億円。このう

ちシートシャッターは24億5000万円を占める。

14年3月期は防爆門番のほか、マイナス25度でも稼働する製品などの投入により、シートシャッター関連の売上高で30億円を見込む。